

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



雪をかぶっているのが伊吹山、麓口。

前兆だったと言っている人も現れたと介かすも、流言にはお意味を採り、悲しみの一面

冠に冠った女が、伊勢からやまを東に、鎌倉時代末期にさながらわき話で京の町が大騒動になったと「徒然草」に記されている。おまそ二十坪間にわたって人々は鬼見にして出でまどふという幽霊状態だった。上流階級も下層の人も、この話題で持ちきりで、鬼が出たと話か流れると、道も通れないほどの混雑に落ちて、ひどいけかも起きると吉田兼尚は、つづけている。

心をみる。



2009.07.29

ミガレの



伊吹の春の月後半

せい銅の壺 (有石制作)

花かん。(有石制作)

